

平成29年度

第13回 一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会全国大会秋田大会要綱

1. 大会テーマ 『新しい生活の場を語ろう！』

2. 開催趣旨

障がいのある方々の重度化・高齢化が進行しています。また家族の高齢化も深刻で在宅で我が子を支えることが困難になってきていると思われまます。

我が子の将来を悲観して心中するなどの悲惨な事件も後を絶たない状況です。さらには障害者をめぐる人権侵害や虐待、痛ましい殺傷事件も起きてきており、障害者を取り巻く環境は厳しさを増してきている状況です。24時間、365日、どんなに障害が重くても高齢になっても、本人、家族が安心して生活できる場を作ることが急務となっています。

国は「親亡き後」として地域生活支援事業を推奨し、障害者支援施設の定員削減を進めてきています。しかし、重度化・高齢化の深刻さから、障害者支援施設におけるセーフティネットは欠かせず、障害者支援施設が地域生活を支える拠点として、その役割が益々求められてきています。

私たちは障害者の権利を守り、意思決定支援や、安心して生活ができる場とはどうあるべきかを考え、本大会を開催いたします。

3. 主 催

一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
秋田県知的障害者施設家族会連合会

4. 後 援（予定）

厚生労働省、秋田県、秋田市
日本知的障害者福祉協会、秋田県社会福祉協議会、秋田県障害福祉団体協議会
秋田県手をつなぐ育成会、秋田県社会就労センター協議会、秋田魁新報社
NHK 秋田放送局、ABS 秋田放送、AKT 秋田放送、AAB 秋田朝日放送
秋田県知的障害者福祉協会、秋田県知的障害児者生活サポート協会

5. 日 程

平成29年10月3日（火）～4日（水）

6. 会 場

秋田キャッスルホテル
〒010-0001
秋田県秋田市中通1-3-5
TEL：018-834-1141 FAX：018-831-0518

7. 大会参加費

参加費 6,000円

情報交換会費 7,000円

8. 参加対象

- 1) 知的障害者施設家族会関係者
- 2) 福祉サービス事業関係者、教育関係者、行政関係者、障がい児（者）家族
- 3) その他福祉に関心のある方

9. 申込方法

大会への参加申し込み、宿泊申し込みは別紙「申込書」参照

10. 大会プログラム概要

10月3日（火）

12時	13時	13時30分	13時45分	15時15分	15時30分	17時	18時30分	20時30分
受付	開会式	休憩	講演	休憩	全員参加型討論会 (家族からの話題提供)	休憩	情報交換会	

10月4日（水）

9時	10時	10時15分	11時45分	12時	12時15分	12時30分
行政 報告	休憩	全員参加型討論会 (福祉事業所からの話題提供)	休憩	大会決議 案採択	閉会式	

11. 開会行事

開会宣言 秋田県知的障害者施設家族会連合会 会長 長坂宏次

開会挨拶 一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会 理事長 由岐 透

来賓祝辞（予定）

秋田県知事

秋田市長

日本知的障害者福祉協会会長

12. 講演

テーマ 『安心、安全、快適な生活の場を考える』

講師 全国知的障害者施設家族会連合会副会長 南 守

13. 行政報告

厚生労働省（予定）

14. 全員参加型討論会

10月3日（火）主に家族からの話題提供者3名

- （1）家族の高齢化により在宅での養育が困難になっていることについて
- （2）強度行動障害により、施設での利用が困難になり、自傷・他害により家族での養育が困難になっていることについて
- （3）「終の住処」として安心して託せる支援施設を求めて

10月4日（水）主に障害福祉事業所からの話題提供者3名

- （1）意思決定支援が課題となる事例について
- （2）65歳以上介護保険優先と高齢化や看取りへの取り組み・課題について
- （3）「終の住処」として安心して託せる支援施設を目指して

コーディネーター：九州市立大学教授 小賀 久

助 言 者：埼玉大学准教授 宗澤忠雄（1日目）

全国知的障害者施設家族会連合会副理事長 南 守（2日目）